

令和6年度「緑の募金運動」実施方針

「緑の募金運動」は、戦後間もない昭和25年に、荒廃した国土に緑を蘇らせようという思いにより「緑の羽根募金運動」として開始され、今年で75年が経過し、この間、一定程度の森林や緑環境の整備が進められてきました。

近年は、地球温暖化に端を発した「SDGs」や「ゼロカーボン北海道」の実現に、森林整備や緑化推進が大きく貢献することがクローズアップされています。

このような中で、「緑の募金運動」をより一層進展させるため、「いつでも、どこでも、だれでも」募金に参加できる体制の構築を図るとともに、募金事業の実施にあたっては、市町村緑化推進委員会等による身近な緑化事業を促進し、公募事業による森林ボランティア活動の拡大や木育をはじめとした森林環境教育の推進などに取り組んでまいります。

記

1 募金活動の展開

令和6年度は、次のとおり募金活動を展開する。

(1) 全国一律で進められる取組

① 募金運動期間（平成7年6月1日付け農林水産省告示第734号）

- ・春期募金 1月15日(月)～ 5月31日(金)
- ・秋期募金 9月 1日(日)～10月31日(木)

② 一斉強調期間（「緑の羽根」着用推進期間）

「みどりの月間」4月15日(月)～ 5月14日(火)

③ 統一スローガン

「緑の募金で進めようSDGs」

(2) 北海道独自の取組

① 募金目標額：40,000千円

② 募金運動期間：通年で実施

集中的に「緑の募金」を呼びかける期間

- ・上記を含め「北海道緑化募金」期間 4月15日(月)～6月30日(日)

※1 「北海道緑化募金」は、6月とし北海道が独自に設定するもの

※2 市町村緑化推進委員会等は、上記の期間を中心に、地域の実情に応じて募金活動を実施。

- ・なお、秋期は全国一律の期間 9月1日(日)～10月31日(木)

③ 街頭募金集中期間

- ・4月27日(土)～5月31日(金)

※ 森と緑の会では、上記期間で札幌市中心部において街頭募金活動を実施予定。

④ 緑化活動啓発標語

「澄んだ空 緑あふれる エコの国」

※ 令和5年度緑化活動啓発作品コンクール 芦別市立啓成中学校1年 島倉志穂さんの作品

2 募金運動の目標

「いつでも、どこでも、だれでも」参加できる体制を構築するため、募金活動に取り組む団体等の数の増加を図る。

令和5年度：367団体 → 令和6年度：400団体（約1割の増加を目指す）

※ R5活動団体数：市町村145、協力団体13、募金協力者209

3 募金活動の重点方策

令和6年度は、次の事項を重点方策として取組を行う。

(1) 普及・啓発活動

「緑の募金」が地域の緑づくり、人づくりにどのように活用されているかなどの活用情報の提供や、森林や緑づくりの大切さを考えていただけるよう、広く道民に効果的に普及・啓発を行う。

① ホームページやSNSでの情報発信

「緑の募金」使途状況や活動状況、寄附者の紹介などをHPやSNSで発信

② 緑化活動啓発作品コンクールの実施

小・中・高校の児童・生徒が、作品の制作過程で森林や森づくりの大切さを学ぶとともに、優秀作品の活用による普及・啓発資材の作成

③ 広報誌「みどりのGift」、ポスター・チラシ・カレンダーなどの製作・配布

コンクール入賞作品を用いて広報誌等を製作し、広く道民に配布し普及・啓発

④ 市町村広報誌による募金活動情報の周知

「緑の募金」期間や取組状況等の情報を提供し、地域住民への周知を依頼

⑤ 新聞、地域コミュニティ誌などの活用による情報発信

様々な活動の情報などを積極的に提供し、報道を働きかけ

(2) 募金活動

これまで取り組んでいる街頭募金や職場募金を進めるとともに、「SDGs」や「ゼロカーボン北海道」への貢献を切り口に、様々な場所や方法で「緑の募金」に参加できるように、多様な活動に取り組む。

① 様々な場所への募金箱等の設置など多様な募金方法の推進

道の駅、各種店舗、公共施設等への募金箱の設置を要請するほか、使途限定募金、自販機募金、古本募金、お宝募金、ポイント募金などを進めるほか、キャッシュレス募金に対応したSoftBank「つながる募金」・J-coinPay「ぼちっと募金」の普及を推進

② 企業・団体への募金協力など募金運動拡充の取り組み

環境貢献意識の高い企業・団体に対し、SDGs達成への貢献など企業のCSR活動による募金への参加呼びかけや様々な企業・団体との連携協定の締結などによる協力体制を構築

<連携・協力いただいている企業・団体>

- ・北海道鮭商生活衛生同業組合
- ・ダイドードリンコ株式会社東北営業部
- ・サントリービバレッジソリューション株式会社北海道支社
- ・北海道電力株式会社
- ・株式会社ペットプラン
- ・株式会社中山組
- ・岩田地崎建設株式会社
- ・株式会社エスシー・アペックス
- ・株式会社RITARU
- ・北海道森林土木建設業協会
- ・札幌トヨタ自動車株式会社
- ・道路工業株式会社
- ・株式会社レバンガ北海道
- ・札幌ライオンズクラブ
- ・札幌ロータリークラブ ほか

③ 家庭募金、職場募金の推進

家庭募金に取り組んでいない市町村などへの働きかけ

④ 「北海道植樹の日・育樹の日」や「道民ひとり1本植樹・育樹運動」と連携した重点的な取組

植樹の日（5月第2土曜）・育樹の日（10月第3土曜）に実施される行事や「道民ひとり一本植樹・育樹運動」と連携し、重点的な募金活動を実施

⑤ 募金協力者の顕彰

「緑の募金」への協力者（個人、団体）に対する顕彰の実施

⑥ ターゲット型募金の検討

地域において重点的に整備・保全が必要な箇所を選定し、そのために必要な費用を募るターゲット型募金の検討を推進

4 効果的な募金事業の実施

募金事業の実施にあたっては、「緑と水の森林ファンド都道府県事業」などと一体的に、地域における森林ボランティア活動の拡大及び活動内容の多様化に資する観点から、先駆性、モデル性のあるものを優先するなど寄附金の効率的な活用に努める。

① 公募事業

「緑と水の森林ファンド都道府県事業」などと一体的に公募する助成事業の実施にあたっては、森林の整備や身近な緑化の推進、緑の少年団の育成など、重点課題に基づき、先駆性・モデル性のある事業を優先的に実施

② 市町村等緑化事業

市町村等緑化事業の実施にあたっては、地域における植樹行事のほか、町内会等が行う公共花壇などへの花苗の植栽など身近な緑化活動への支援を積極的に行うよう依頼

③ ほっかいどうお魚殖やす森林づくり事業（使途限定募金）

ほっかいどうお魚殖やす森林づくり事業への使途限定募金を活用し、北海道漁業協同組合連合会が主体となって実施する「お魚殖やす植樹運動」を積極的に支援